

砂状熔りん

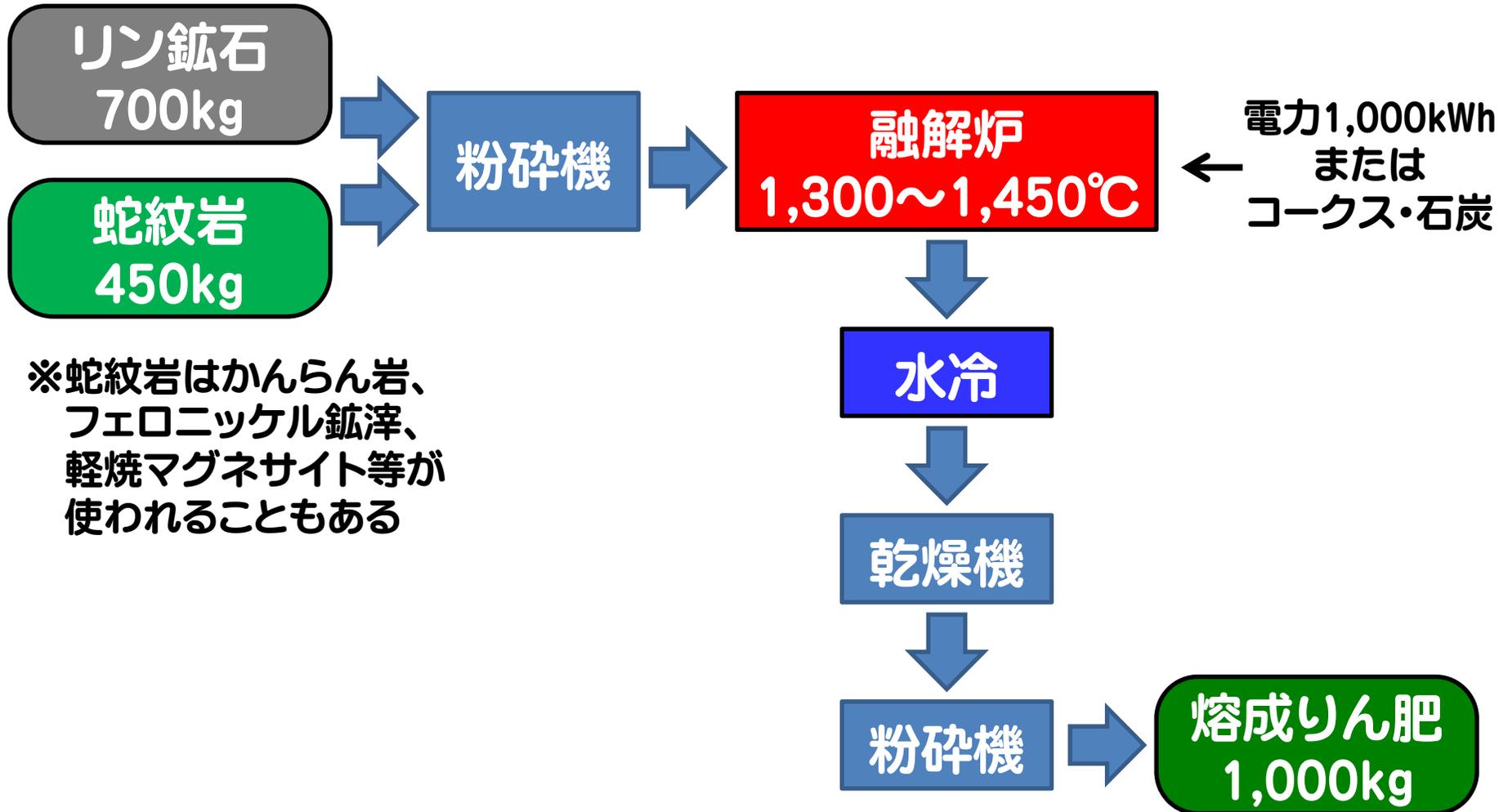


粒状熔りん



＜溶性りん酸＞：17～20%
＜溶性苦土＞：12%
可溶性けい酸：20%
アルカリ分：40～50%
pH：7～8
比重：2.9～3.0

取扱い(作業性)の良さ
砂状＜粒状
肥効の良さ
砂状＞粒状
(粒が細かいほど溶けやすい)



熔成りん肥製造工程の一例

- リン酸、石灰、苦土、けい酸、鉄、銅、亜鉛などが含まれ、水には溶けず、クエン酸などの薄い酸に溶ける。
- 根や土壌粒子との接触で溶解し、長く肥効が持続する。
- アルカリ分を含み、土壌の酸性矯正効果がある。石灰資材に比べて穏やかに矯正する。
- リン酸が少ない土壌は、過りん酸石灰と熔りんを1:4で混合施用すると良い。

熔りんのけい酸は水稻に有効(山形県農試)

成熟期茎葉中ケイ酸を1%増加させるのに
必要な資材の施用量(kg/10a)

熔成りん肥	100
ケイカル	250
けい酸加里	200